

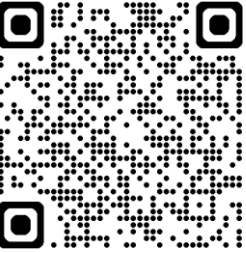
議題1 「令和7年度大正区運営方針」の振り返りについて

【当日出された意見等】							
	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	対応にかかるHPなど	担当課
1	がん検診等受診率 喫煙率	健康で安心して暮らせるまち「大正」というところの評価について、がん検診が令和8年8月頃判明、喫煙率が令和9年3月頃判明となっているが、現状として達成できそうなのか聞きたい。 喫煙に関しては、大阪市では路上喫煙禁止になっており、減らすような対策として独自のことを何かしてるのか聞きたい。	折田委員	【貴志保健福祉課長】 がん検診と喫煙率の数字ですが、統計の集約の関係で正しい結果が出るのは、表に書かせていただくとおり少し先になりますが、まず、がん検診につきましては達成するかどうか正直微妙なところですが、区役所では様々なイベントに出たときにがん検診の受付とかもさせていただいていますが、まだ目標数値に達するだけの申し込みがギリギリかなと思っているところであります。 区役所ができることといえば、「がん検診は大事なので受けてくださいね」と周知することがメインになりますが、今後これまでやってきた広報などを見直しまして、効果的なやり方を検討してまいりたいと考えております。 もう一つの喫煙率に関しては、恐らくこれは達成できないであろうと思っています。 喫煙率について、タバコは体に悪いというのは、恐らく誰に聞いても体に悪いという答えが返ってくるかと思うのですが、それが「吸っている方がやめる」という行動変容になかなか結びつきづらいところでもございます。大正区では様々な広報のほかに、昨年度、例えば、健康優良法人の資格を取っている企業の所長さんに講演いただいたり、5月の世界禁煙デーにちなんだイベント等々もさせていただいてるんですが、来られる方が「自分が吸っていて禁煙したい」からではなくて、もう既に健康に興味がある方、ほぼタバコを吸っておられない方がご参加される傾向もあると分析しておりますので、この点についても、もう少し効果的な方法がないかどうかを模索しながら、今後イベント等の改善につなげていって、少しでもこの数字に近づけるように努力してまいりたいというふうに考えております。	【令和8年度の取組について】 令和8年度のがん検診の受診者増及び禁煙にかかる取組みとして、6月4日にヘルスチェック2026in大正を開催し、141名の方にご来場いただきました。 ヘルスチェック2026in大正では、5月31日の世界禁煙デーにちなんで肺年齢測定や血管年齢測定を実施し、それぞれ54名、73名の方にご参加いただきました。 参加者のうち87名の方にアンケートにご回答いただき、58名（66.7%）の方が健康づくりのきっかけになったと回答され、以前から取り組んでいると回答された18名（20.7%）と合わせて、87.4%の方がご自身の健康づくりに取組む旨のご回答をいただいたところです。 今後も、10月の「みんなの健康展」、12月の講演会など、イベントによる啓発と、大正区広報紙「こんにちは大正」に、各種健診の開催日等を毎月掲載するなど、区民の方に、健診等を含めた健康寿命延伸に資する情報発信を継続して実施してまいります。		保健福祉課 （健康づくり）
2	防災	地域で支え合う安全なまち「大正」の評価で、A評価になっているが、こういった基準でA評価なのか。	折田委員	【上山防災防犯担当課長】 個別避難計画は、令和8年度中に全10地域を策定ということで掲げております。 令和7年度までで10分の8地域進めることができており、計画的には順調で、令和7年度は達成であるためA評価であり、令和8年度は残り2地域を進める予定です。			地域協働課 （防災・防犯）

議題1 「令和7年度大正区運営方針」の振り返りについて

【当日出された意見等】							
	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	対応にかかるHPなど	担当課
3	居場所	経営課題3のところ、こどもの未来が輝くまち「大正」というところの、この評価は前年度実績が8地域で今年度が9地域になっているがB評価なのはなぜか。評価基準のAとBの違いがわからない。	折田委員	【二階こども・教育担当課長】 アウトカム指標のところ、居場所づくりについては令和7年度に全10地域の設置をめざしておりましたので、令和6年度から比べますと1地域設置ができた状況ではございますが、まだ全地域に達していないというところでB評価とさせていただきます。引き続き未設置地域につきましては、居場所開設にかかる補助金制度もございますので、このような制度がありますよという周知も含めまして区社協やこども青少年局とも連携しながら、未設置地域ゼロをめざしてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。			保健福祉課 （こども・教育）
4	にぎわい作り	にぎわいと魅力あふれるまち「大正」の評価で、アウトカムには4か所の変動率について、令和4年度比較で上昇をめざすとあるが、目標年次は令和7年でよいのか。令和4年度比較で上昇をめざすっていうところに対しての基準がわからない。実際のところ、物価が上がりが続いているんで、そもそも、上がるんじゃないかと思う。	折田委員	【細川地域協働課長】 令和4年度との比較で上昇をめざすということで、毎年、前年度と比較をしていってまして、実態として令和4年度よりも上がっているという結果になっています。 また、全体的に物価が上がっているので、地価も上がるんじゃないかというご指摘ですが、そういうところもあるかとは思っております。ただアウトカム指標でにぎわいが活性化されてるということの評価する項目がなかなか難しいという状況もありまして、現在のような指標を設定させていただいております。 主な戦略のところでは、イベント支援を行うということで、その支援の数は徐々にですが伸びており、積極的に支援させていただいてるところです。 【村田区長】 以前のビジョン（将来ビジョン2025）で令和4年度に比べてと設定しましたが、そのときはコロナが終わったぐらいでこれからどうなるか分からないところもあり、地価で頑張ろうということでしたが、万博や世の中の変化もあり、すごい上がったというのが実感です。ただ課題もあり、駅前のにぎわい、これはできてます。駅前の地価の上昇率もかなり高いです。ただ、例えば国道43号から南っていうのはやはりにぎわいというのが、まだちょっと少ないかなというのは、それはもう当然感じているところです。ですの で、駅前のにぎわいを南側に持ってくるのではなくて、南側のよさっていうのを、これから皆さんと一緒に発掘しながら、このエリアをちょっとずつでもいいから変えていきたいというふうに考えております。今日の報道発表でありましたが、鶴町の緑地のほうの開発事業者が決まったということもお聞きしております。これに合わせて先ほど鶴町の若手の方とメール、LINEでやり取りしてたんですけども、「我々もこれに負けずやらないかん」というふうになりましたので、やはりそういう取り組みを地域の皆さんと一緒に、未来のまちのファンを想像しながら、まちづくりと一緒にしていければなというふうに思っています。そして結果として地価が上がればいいかなと思っております。			地域協働課 （地域協働）

議題1 「令和7年度大正区運営方針」の振り返りについて

【当日出された意見等】							
	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	対応にかかるHPなど	担当課
5	居場所	こどもの未来が輝くまち「大正」というところで、ここのアウトカムのところ、こどもサポートネット事業に必要な支援へつないだ割合100%っていうふうになってまして、この100%達成するっていうことは、そういう拾い上げた子供を結構いろんな手段で送り届けていると思うが、必要な支援で教育的支援、福祉的支援、地域による関わりっていうので、どういう具体的な政策に持っていったのかっていうのをもう少しだけ詳しく知りたい。特に、地域による関わりというのはどういう形なのかなっていうのが気になった。	山本委員	【二階こども・教育担当課長】 支援につないだ割合100%というところでございますけれども、「学習・登校サポート事業」であるとか、あと地域のところで申し上げますと、例えば、民生委員さんのところでもありますとか、適切な支援につないでいくというところで、100%間違いなくつないでいますが、そのつないだ先で、実際児童・生徒の状況が好転あるいは解決した割合というのは、決して高くはなく、50%を切っているという状況もございます。私どもとしましては、支援につなぐだけでなく、その状況好転、解決した割合を高めるといことも今後の目標に据えて取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。 地域の支援というのは引き続き民生委員の皆様をはじめ地域の皆様の御協力を得ながら、進めているところでございます。 【村田区長】 実際とある地域の主任児童委員さんは、こどもサポートネットに上がってきた、あるいは要保護児童対策協議会で上がってきた、その児童を、課題のある家庭児童本当にずっと親身になって、常に見守っていただいています。そういうふうなつながりっていうのも大事なかなと思っています。こういう取り組みがつながっていき、事業状態が好転していけばなというふうに思っております。 【信岡委員】 ここに書いてあります主な戦略のところにスクリーニング会議っていうのがあるんです。ただこれは各小学校、中学校で課題のある家庭をずっと挙げていく、課題も含めて名前を挙げるっていうような会議に民生委員主任児童委員は出てるんですけども、この間のつながる場っていう、そういう会議がありまして、それは役所の方、そして私たち、そしていろいろ支援できる立場の方が出席して、これから個々の家庭に一つの家庭にどういう支援ができるか。それぞれの私たちだったらこういう支援をやっていきましょう。地域でできることは、ちょっとお掃除に行ったりね、ちょっと楽しむために一緒に御飯を作りましょうみたいなことなんですけれども、勉強を教える立場の人、それからその御家庭をサポートするためには区役所の方のどういうサポートを使えるかっていうようなことを具体的に考えていただける会議が、私あの会議はつながる場っていうのは、初めてああいう具体的にこれからの今後を見据えた対応だっていうことに、ちょっとこの会議があってよかったな、こういう会議があちこちその課題のある家庭のことで開いていっていただけたらありがたいなというふうにちょっと感じました。	【こどもサポートネットについて】 こどもサポートネットとは、学校での気づきを通して、こどもや子育て家庭の困りごとをキャッチし、必要な支援や制度につなぎ、社会全体でこどもと子育て家庭を支える取組です。教育分野での支援としては、登校・学習支援、教育相談、就学援助、塾代助成など、保健福祉分野での支援としては、生活や就労の支援、障がい・介護に関わる支援など、地域支援としては、民生委員・児童委員、主任児童委員をはじめとした地域のみなさまとの連携による見守りなどがございます。引き続き、学校・行政・地域が連携して、支援に取り組んでまいります。 【つながる場について】 大阪市では、従来の制度毎の相談対応に加え、「制度の狭間」をなくし、「複合的な課題を抱えている」世帯を支援するため、「総合的な相談支援体制の充実事業（繋がる場）」を実施しています。昨今、福祉課題が複雑化する傾向もあり、ひとつの世帯に複合的な課題であったり、課題自体が複雑になっているケースも多く見受けられます。身近でお困りの方がおられましたら、大正区役所1階のインコス大正をご案内ください。インコス大正では、その世帯の課題をひも解き、寄り添いながら、解決方法を考えてまいりますので、よろしくお願いいたします	 https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/page/0000436277.html	保健福祉課 （福祉） （こども・教育）
6	居場所	こどもの居場所が設置されている地域について、この居場所というのはどういうところを指して、この8地域とか、9地域とか書かれているが、どういう地域を指しているのか。	信岡委員	【二階こども・教育担当課長】 現在大正区内では9地域に13か所あることを把握しておりまして、具体的にはこどもさんに食事のみを提供しているケースもあれば、食事だけでなく例えば夏休みや冬休みの長期の休みの期間に、子供たちに勉強を教えている、いわゆる宿題カフェ的な感じで居場所を設置している地域もあるということ把握をさせていただいております。			保健福祉課 （こども・教育）

議題1 「令和7年度大正区運営方針」の振り返りについて

【当日出された意見等】							
	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	対応にかかるHPなど	担当課
7	防災	津波避難マップの更新時により区民の防災意識の向上を図るとともに外国人への支援とあるが、実際震災が起こったときに、避難する場所っていうのは地域だと思う。その地域に外国の方へのおもてなし防災ツールの配布がなかったり、あんまり行き届いてないのかなと思う。それで6月に防災訓練するところが多々あると思うが、もちろん小林もするが、その外国の方への対応っていうのが話題に一切上がってこないっていう現状がある。でも、まちを歩けば、もう本当に大正区は外国人の方がすごい非常に多い現状でどこの国の方なのかも分からないっていう現状があるので、もうちょっと区役所のほうから地域のほうへ下ろしていただけるのであれば助かる。	山崎委員	【上山防災防犯担当課長】 外国人の方への対応については、今後も地域の防災訓練や出前講座などで、広報させていただきたいと思っております。 令和7年度運営方針振り返り資料に記載の「おもてなし防災」というのは、外国語の貼り紙やチラシ等を配布させていただいている活動になっております。今年度も活用を検討したいと思います。	「おもてなし防災」は、外国人観光客自らが地震や津波から「命を守る行動」をとることができるよう、多言語の啓発ポスターを区内に掲出する取組です。 今年度は「津波避難マップ」の翻訳版の作成を検討しています。 また、外国人をはじめ災害時に配慮が必要な方に対する対応等につきましては、地域の訓練で取り入れていただくための支援に引き続き取り組んでいくとともに、区役所としましても整備をすすめていきたいと考えております。		地域協働課 （防災・防犯）